

THP年次集会

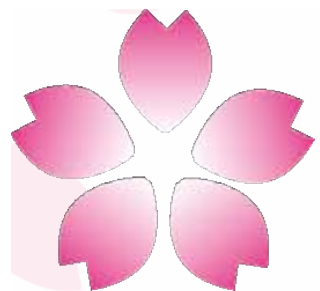
地域で暮らす人々とともにある保健医療を考える

在宅医療におけるTHPの活動

医療法人聖徳会 小笠原訪問看護ステーション
木村久美子

平成23年3月5日(土) 14:10～

於名古屋大学医学部保健学科本館第一講義室



看取りに関して…

直近30ヶ月間の在宅での看取り… **120名**

うち	がん以外	39名
	がん	81名
	(独居がん	9名)

入院したがん患者は3名である。

なお、がんの在宅看取り率は **96.4%**であった。

THP = 多職種連携のKeyPerson

在宅緩和ケア

在宅療養支援診療所

かかりつけ医

医師

(家政婦)

自費ヘルパー

家族

ボランティア

薬局

薬剤師

患者

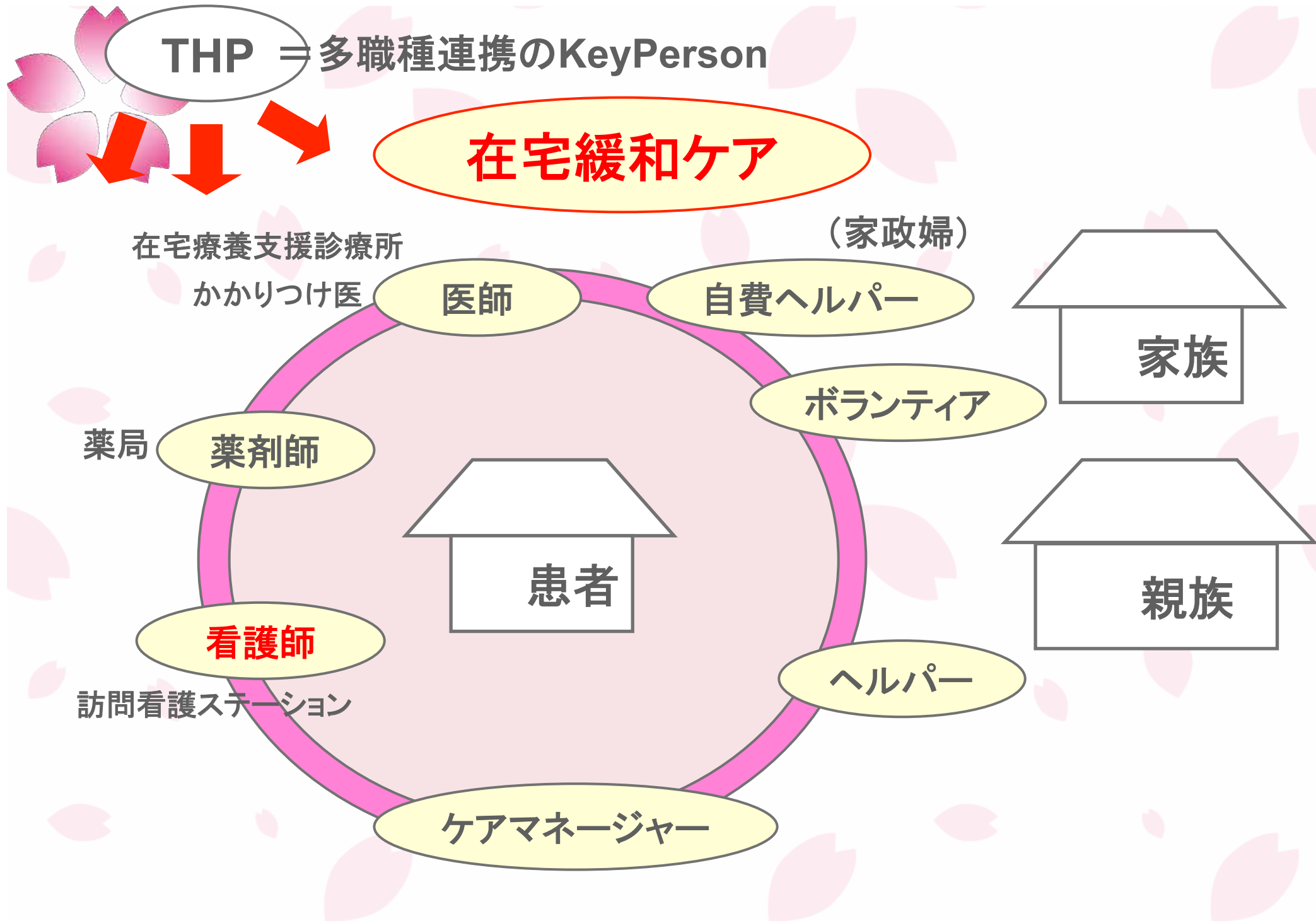
親族

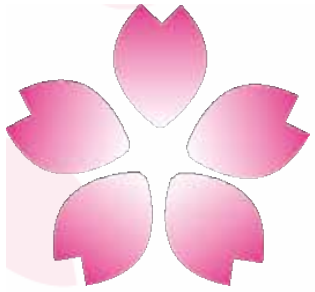
看護師

ヘルパー

訪問看護ステーション

ケアマネージャー



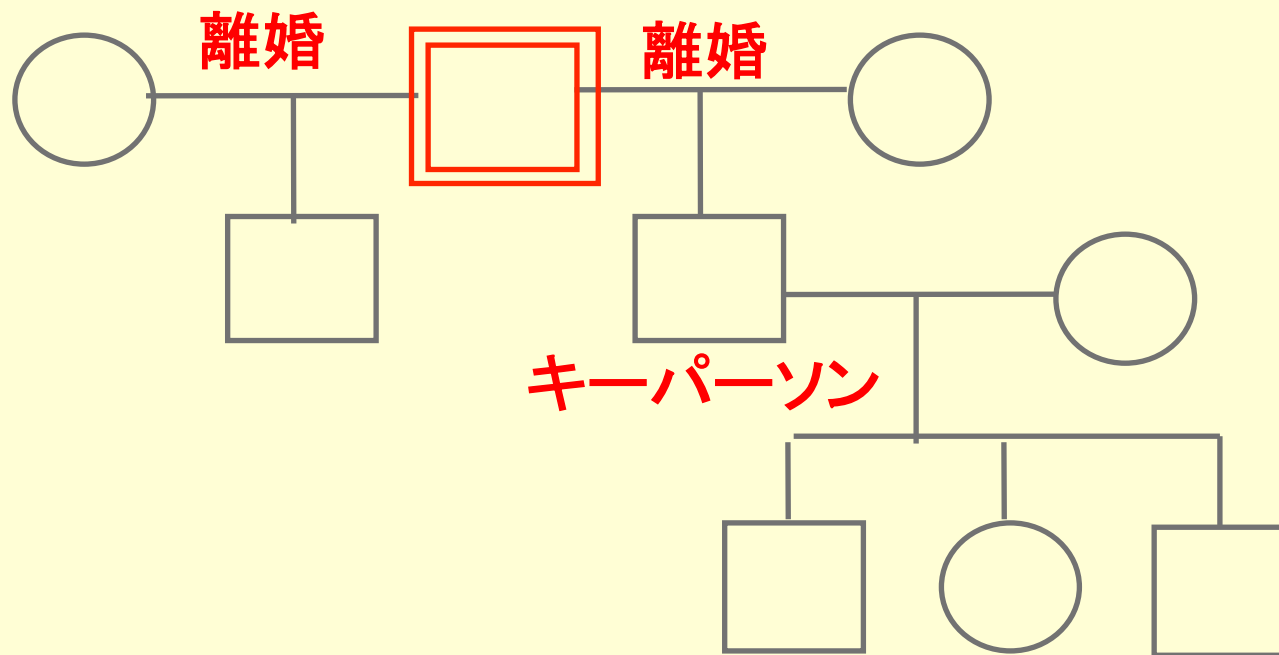


事例1：独居で生活保護

50代、男性 下咽頭がん

独居

<家族構成>



①息子が市民公開講座を聴き、相談外来へ

→ 在宅療養開始

②『元気になりたい』と言いつつも、医師らの説得の甲斐なく
エンシュアH 6缶(1缶375kcal)計2250kcal/1日摂取
↳ 窒息 → 750kcalへの減量を承諾

③一時は親子で温泉へ行くなど過ごす



お互いわがママが出てきて、ケンカ



息子が父のアパートに来なくなる

THP

ヘルパーが介護保険枠外
でのボランティア精神で
介助できる方法を考察

④ ターミナル期

息子『もう入院してほしい、関われない』→ 患者『もうすぐ終わるから』と、拒否。
患者が信念を持ち、夜間セデーションを選択される。

↳ THPが息子に解読不能の「さいなら」と書いたノートを見せ、
息子はホツとし、嬉し涙

→ 見守られながら静かな旅立ち

< 考察 >

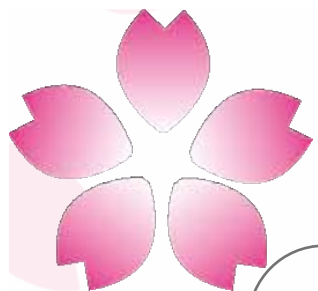
- * 状態の悪化に伴いターミナル期となった時、息子は入院を希望されたが、患者の意思を尊重し、生き抜くための夜間セデーションを実施。
→ ‘夜間何かあったら’ という不安や苦痛を取り除くことができた。

- * 今回のケースではTHPが親子の間に入る事で、両者の思いを汲取ることが出来、息子に負担がかかりすぎた時は、各事業所へ速やかに対処ができた。

- * 結果、息子は『入院を・・・』と言ったものの、患者の意思通り在宅で看取ることが出来、最後は息子と親子水入らずの一晚を過ごすこともできた。

THPが多職種の事業所間の調整だけでなく、親子間の調整までできた事例である。





事例2 独居の急変時

80代、女性

独居

大動脈弁閉鎖不全症によるうっ血性心不全
腰椎、胸椎圧迫骨折

1年に1～2度、肋間神経痛の為、
特別訪問看護指示書にて訪問看護を行っていたが、
痛みが落ち着くと断る・・・といった状態だった。

訪問診察は月2回、時々薬を飲めていない事を発見。

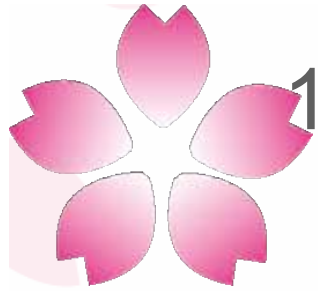


心不全悪化

11:50 定期訪問診察 全身浮腫著明、心不全悪化
入院加療勧めるが拒否。

12:05 ケア会議。 院長、副院長2名、THP
妹に連絡し、意志の確認。

治療開始



12:30 ケアマネ、Nsに連絡。家政婦を手配。
(できるだけ早く)酸素、ベット手配。

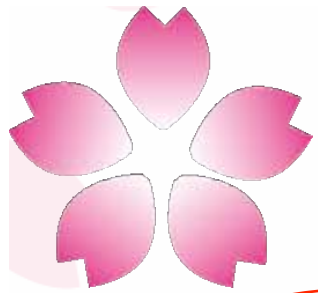
13:00 バルーン挿入。
ベツトスペースの掃除開始。
(ボランティア・・・Ns3人、ケアマネ)

14:00 在宅酸素設置。妹到着。
別の妹に電話連絡し、意思確認。

14:30 院長と往診。

16:30 ベツト搬入。

18:00 家政婦



医療面

介護面

在宅酸素、点滴
Baカテ挿入

ベット
付添いの介護者

THP

Ns、Drなど医療者の担当

ケアマネジャーの担当

倫理面

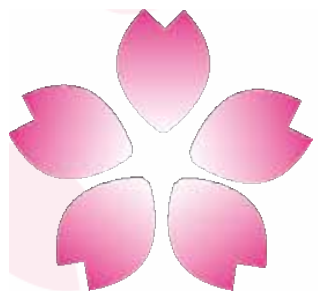
本人の意思確認
家族の同意



その他問題点

- ベットを入れる為に部屋の掃除が必要
 - ➡ ボランティアで訪問看護師が対応
その為の時間調整
- 独居であり、身内はあまり仲の良くない妹
 - ➡ 本人に意向を聞いた上で連絡。
その後、たまに会いにくるように…

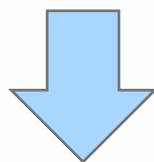
結果的に2時間以内に在宅療養の調整ができた。



まとめ

在宅での困難事例に対し、THPが広い視野を持って関わる事で、問題点が見つけやすく、タイムリーな援助が可能となる。

チームの中でKeyPersonとなり、多職種間をつないでケアをすれば、患者、家族が安心して在宅で過ごせる。



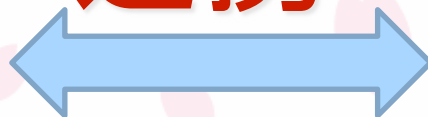
結果として困難事例でも在宅での看取りが可能となる。

<期待される結果>



看取りの経験豊富な
訪問看護ステーション

連携



看取りの経験のない
訪問看護ステーション

THP



薬剤師

医師

自費ヘルパー

ケアマネージャー

ヘルパー

ボランティア

- 地域での在宅看取り率の上昇
- 在宅がん終末期患者のQOLの向上